



鶴間中学校だより

11月号

令和6年11月26日発行
大和市立鶴間中学校
大和市下鶴間3016
TEL 046-274-8903
FAX 046-276-1067

学校教育目標 『自分を創る』 ひろい心 すこやかな体 ゆたかな学力
ホームページ URL: <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/c-turu/>

「翔ける未来へ！50周年の歴史とともに！」

校長 小澤 裕之
(創立50周年記念式典 式辞より)

私は、校長として、この記念すべき時に立ち会えて、みなさんと共に創立50周年の喜びを分かち合えることを、大変幸せに思います。

本校は、昭和50年に生徒数660名、17学級編成で、市内で5番目の中学校として、地域の大きな期待を担い開校しました。以来、50年の歴史を重ね、昨年度末までに8,092名の卒業生が本校を巣立ち、立派な社会人として活躍していることは、本当に喜ばしいことです。校庭の桜の木も50年という歳月を重ね、学校と共に成長し、我々を見守ってきてくれました。毎年美しい満開の花で新入生を迎えてくれています。現在は、443名の生徒がさまざまな教育活動を展開しております。

ところで、「鶴間」という地名の由来にはいくつかの伝説があるようですが、みなさんは知っていますか？源頼朝が富士の鷹狩りの帰り道にこの地を通り、鶴が舞うのを見て「鶴舞の里」と名づけたというものや、源義経がこの地を通ったときに鶴が舞うのを見たというものです。義経がこの地を通ったのは、平氏討伐後、兄頼朝の怒りにふれ失意のうちに京都へ帰る途中で、頼朝あてに持参した財宝を鶴間の地に埋めたという伝説も残っているそうです。この「鶴舞い」が転じて「鶴間」という地名になったともいわれています。まさしく校歌にあるように「鶴舞いの里」なのです。鶴間中学校の校章も鶴を図案化したものになっています。

本校の教育目標は、「自分を創る」です。中学校の3年間は、子どもから大人へ心も体も大きく変化し成長する時期です。本校での3年間でそれぞれの子どもたちが興味のあることを見つけ、自分のよさを知り、それを大切にしながら夢に向かって、自分自身を創って行ってほしいという願いが、この学校教育目標に込められています。今から26年前の平成10年、1998年、当時の大谷校長先生が21世紀を見据えて、これからどんな生徒を鶴間中学校で育てていきたいか、鶴間中学校の3年間でどのように成長して行ってほしいか、先生方だけでなく保護者や地域の方々の想い、生徒自身の想いも踏まえて作られました。

大谷元校長先生は、学校教育目標の改訂にあたって次のように残されていました。

「本校は、生涯学習の基礎を培う観点に立ち、生徒にとって学校が伸び伸びと過ごせる場であり、教科の学習や生活を通して、生徒が友人や教師とともに学び合い、自己実現の喜びを味わうことができる学校の創造と落ち着いた潤いのある校風の樹立を目指しています。生徒は「自分さがし」を続ける旅人です。その一人ひとりの「個」を大切に認め合い、よさや可能性を大いに発揮し、生涯にわたって学ぼうとする意欲や向上心を育もう…それが、この目標に込められた思いです。」大谷元校長先生の言葉に触れて、改めて「自分を創る」という教育目標に込められた深い思いを感じることができました。

50周年記念事業のスローガンは、「翔ける未来へ！50周年の歴史とともに！」です。この50周年はこれからの本校の明るい未来に向かって、さらなる飛躍につながる節目です。これからも、常に生徒の成長を願い、鶴間中学校の良き伝統を守りつつ、新しい試みに挑戦し、さらなる飛躍を目指す教育活動を推進、実践して参ります。どうか生徒の皆さんは、友達や先生方とこの鶴間中学校で学び、思い出に残る行事、楽しさや辛さを共に分かち合った部活動など、充実した中学校生活を忘れることなく、鶴間中学校を誇りに思い、胸を張って巣立つことを願っています。

これまで、本校を支えていただいた大和市ならびに大和市教育委員会、地域の皆様、保護者の皆様、そして本校の教育に携わった教職員の皆様に心から感謝申し上げます。今後も、鶴間中学校が地域の誇りとなり、さらなる発展のために本日お集まりいただいた皆様方からのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【記念講演：落語家 柳家 あお馬さん】

《部活動 新人戦・発表会等の結果》

部活動	市大会			県央大会		
	大会日	主な会場	結果	大会日	主な会場	結果
サッカー部	9/28,9/29, 10/5,6,13	大和SC他	7位タイ	11/23,30 12/1	座間市立栗原中学校他	2回戦突破(〇2-1厚木市立東名中) 今後の結果はどうぞ期待!!
野球部	9/28,10/5,12	下福田中学校 大和スタジアム	準優勝	10/26,27, 11/3	玉川野球場 厚木市立荻野中学校	準優勝
男子 ソフトテニス部	9/8,14	大和ゆとりの森他	個人戦: 1ペア県央進出	10/6	大和ゆとりの森他	初戦敗退
女子 ソフトテニス部	9/8,15	大和ゆとりの森他	団体優勝: 県央進出 個人戦: 4ペア 県央進出	10/6,10/12	大和ゆとりの森	初戦敗退
卓球部 男子	10/12	引地台中学校	個人1年の部: 3位	団体:11/2 個人:11/9	団体:綾瀬スポーツセンター 個人:鶴間中学校	団体: 予選敗退 個人1年の部: ベスト8
卓球部 女子	10/12	引地台中学校	個人1年の部: ベスト8	団体:11/2 個人:11/3	団体:綾瀬スポーツセンター 個人:厚木中学校	団体: 予選敗退 個人1年の部: 準優勝
男子 バスケボール	10/5,6,13,19	南林間中、鶴間中、 つきみ野中、光丘中	4位	11/3,9	座間市民体育館 厚木市立睦合東中	ベスト16
女子 バスケボール	10/5,13,19	南林間中、 つきみ野中、光丘中	3位リーグ戦敗退(8位)	11/2	大和市立南林間中学校	2回戦敗退
バレーボール部	9/28	渋谷中学校	●引地台中 ●大和フェリッシュ	11/2	綾瀬市立綾瀬中学校	○森の里中 ○大谷中 ○睦合東中 ●下福田中
	10/6	光丘中学校	○上和田中 ●渋谷中			●渋谷中 ●つきみ野中 ●座間西中 県央8位
	10/12	渋谷中学校	○大和中 ●つきみ野中 ○南林間中 市7位	11/16	座間市立東中学校	団体戦: 男子3位 女子5位 個人戦: 女子3位
剣道部	9/1	大和SC	団体戦: 男子3位 女子準優勝 個人戦: 男子優勝 女子優勝	10/12	綾瀬市民 スポーツセンター	団体戦: 男子3位 女子5位 個人戦: 女子3位
陸上競技部	10/13	大和市駅伝大会	男子5位(4区区間賞) 女子合同チーム1区出場			
吹奏楽部	10/19	シリウス大ホール	大和市総合文化祭 部活動の部発表会	11/3	綾瀬 オーエンス文化会館	アンサンブルコンテスト 木管6重奏 銀賞 金管6重奏 銅賞
	3/26	シリウス大ホール	鶴間中学校吹奏楽部 定期演奏会	みんな誘って来てください!		
美術部	【大和市防火ポスターコンクール】優秀賞1名受賞 特別賞1名受賞 【大和市安全安心ポスターコンクール】防犯部門 優秀賞1名受賞					

<令和6年度 全国学力・学習状況調査 鶴間中学校3年生の状況>

今年度の全国学力・学習状況調査の状況をお伝えします。今年度は、国語・数学が行われました。

【国語】

- 言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化の項目は正答率が高く、知識及び技能において定着がみられる。
- 思考力・判断力・表現力に関しては、正答率がやや低い。
- 国語の学習が大切だと考える生徒は非常に多い。知識及び技能を生かし、思考力・判断力・表現力を養っていくような指導を続けていきたい。

【数学】

- 知識及び技能、思考力・判断力・表現力ともに、全国平均と同じくらいの値になっている。
- データの活用に関しては正答率が高いが、一方で数や式、図形、関数の分野においては正答率が低い。
- 数学の学習に対しては苦手意識を持っている生徒も多いため、数学の学習に興味を持たせながら、理解を深めていけるような指導を続けていくようにしたい。

【質問紙】

- 平日の過ごし方において、勉強時間よりゲームやSNS・動画視聴の時間が優先される傾向があり、家庭での約束事については、2割の生徒が「約束がない」と回答していた。
- 「自分には、良いところがあると思う」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」とどちらも割合が上昇傾向であり、全国平均を上回っていた。
- 多くの生徒が、ICT機器の活用は学習に効果があると考えている。今後も引き続きICT機器の活用を含め、「主体的・対話的で深い学び」につながるよう授業改善をしていきたい。
- 国の分析によると、個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだと考えている生徒の正答率が高い。生徒の学力向上の観点からも「個別最適な学び・協働的な学び」のバランスに考慮していきたい。